



デジカメ、どれを買う？

皆様は夏のボーナスの使い道はどうされたでしょうか？ 価格.com が行ったアンケート調査によると、ボーナスで購入したい商品の全体の1位が「洋服・ファッション関係」、2位が「液晶テレビ」、3位が「DVDレコーダー」だそうです。

平成の三種の神器、デジカメ

平成の三種の神器という言葉が使われ出して、もうだいぶ経ちました。というより、もう使われなくなった感もあります。三種とは「デジカメ」、「薄型テレビ」、「DVDレコーダー」のことです。2011年の地上アナログ放送終了前のテレビの買い換え、そしてそれに伴うビデオデッキからの買い換えでDVDレコーダーを購入される方も多いことでしょう。

この2つに比べて、デジカメの注目度はやや影を薄めた感じもします。

しかし、デジカメは着実に進歩しているのです！

25万→1000万

現在のデジカメの元祖、カシオ「QV-10」が発売されてから14年が経ちます。メモリーカードこそ使用できませんでしたが、液晶モニタが内蔵されており撮った写真をその場で確認できることや、パソコンに接続できるなど、画期的な製品が出たものだと感心したことを覚えています。QV-10の画素数は25万ほどでした。それが今や1000万を超えています。画素数が多ければ多いほどより細かくきれいな写真を撮影することが出来ます。銀塩カメラで例えれば、35mmと大判の違いのようなものでしょうか。



■カシオ QV-10

現在、発売されているコンパクトタイプのデジカメは、高級機種が約1200万画素、一般機種が約1000万画素、普及機種が約800万画素といったところです。

手ぶれ補正機能

少し前までは、この手ぶれ補正機能が搭載されていることが商品の宣伝文句となっていました。現在は、搭載して当たり前という感じになってきました。

この機能のおかげで、誰でも安心して撮影すること

が出来ます。

シーンセレクトで簡単、きれい！

今までのデジカメにも被写体に合わせて撮影モードを選択する機能はありましたが、モードを切り替える操作は手動で行っていました。

最新の機種では、被写体を自動的に認識して撮影モードを切り替える機能(シーンセレクト)が搭載されています。

これなら人物、風景など被写体を気にせず、簡単にきれいな写真を撮影することができます。

デジタル一眼レフカメラ

デジカメは一眼レフタイプも熱いブームになっています。前回の価格.comの調査では、コンパクトタイプのデジカメを抜き、第6位に「デジタル一眼レフカメラ」が挙がっています。

今まで銀塩カメラを愛用していた方や、コンパクトタイプでは物足りなくなった方が購入するのでしょうか。

例えばキヤノンのEOSデジタルの場合、EFレンズはそのまま使用できるなどの利点があります。

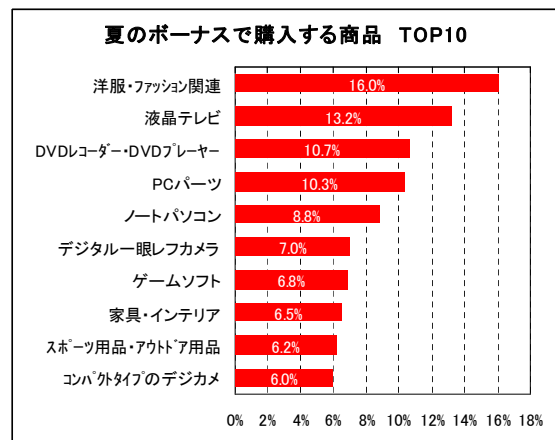
色の再現性

デジカメはメーカーによって、色の再現性に若干の違いがあります。デジカメの撮り比べサイトなどもございます。

購入の際には、機能や値段だけでなく、色の再現性なども比較検討して、自分に合ったデジカメを購入してください。

※参考資料

調査：価格.com 2008年5月



編集後記

夏休みの時期となり、行楽地へ向かう際、カメラを持ち歩くことも多いかと思えます。デジカメなら、撮ったその場で確認できるので、失敗しても撮り直しができるのがいいですね。また、写真用の光沢紙(印画紙)を使えば、家庭用インクジェットプリンタでも写真屋さん並みのきれいなプリントをすることができます。皆様も、ぜひ、デジカメでたくさん撮って、たくさんプリントして、たくさん思い出を残してください。(本田)